Q. (標準問題精講 2B 例題 105)

解説の補助をお願いします。

Α.

まず f(t)のグラフを書くことを考える。

ポイントは f(x)を書き実際に範囲を動かしてみて最大値を考えていくことである。

$$f'(t)=6t^2-18t+12=6(t-1)(t-2)$$

増減表は以下のようになるとわかる。

t		1	• • •	2	• • •
f'(t)	+	0	_	0	+
f(t)	1	3	7	2	/ □

これより、p238 のグラフのようになる。

このグラフにおいてxを変化させて $x \le t \le x+1$ の範囲で最大となる点を考える。ここで $x+1 \le 1$ においては単調増加しているのでt=x+1 となる。その後 $1 \le t \le 2$ において単調減少しているが最大値はx=1 で変化しない。その後 x=1 を過ぎると最大値がt=1 ではなくなり、t=x となる。一方、t=x+1 についても増加する。すると f(x)=f(x+1)が同じ場面が出てくる。それ以降はt=x+1 で最大となる。

$$f(x)=f(x+1)$$
は $6x^2-12x+5=0$ より、 $x=\frac{6\pm\sqrt{6}}{6}$ となる。ここで1 x=\frac{6+\sqrt{6}}{6}

 $x+1 \le 1 g(x) = f(x+1)$

 $x+1 \ge 1, x \le 1$ g(x)=f(1)

$$1 \le x \le \frac{6 + \sqrt{6}}{6} g(x) = f(x)$$

$$\frac{6+\sqrt{6}}{6} \le x \qquad g(x)=f(x+1)$$

となる。

これをグラフにすると p239 のグラフのようになる。